

実在する組織をかたる詐欺メールに注意！

事例1 大手通販サイトからクレジットカード番号を登録し直すようにとのメールが来たので、メールの指示どおりに通販サイトを開いて名前やカード番号などを入力した。その後、約1万7千円分のカード利用がされていたことが判明した。




事例2 大手カード会社から「不正利用の事例が多いので確認するように」とメールが届き、メールの指示に従ってサイトを開きカード番号などを入力した。その後、カード会社から「通信販売で不正な利用が確認された」と連絡があった。5万円ほどの買い物をされていた。

<ひとことアドバイス>

- 通販サイトやカード会社などの実在するホームページそっくりの偽サイトへ誘導し、暗証番号、カード番号などの個人情報を盗み出す（フィッシング）詐欺が多く発生しています。
- メールの指示に容易に従わず、事業者の公式サイトか確認しましょう。日ごろから公式サイトを開くことを習慣にしましょう。
- 偽サイトで個人情報を入力してしまうと、クレジットカードや個人情報を不正利用されるおそれがあります。メールに誘導されて偽サイトを開いても、個人情報は絶対に入力してはいけません。

浦河町消費生活センター 5月分相談件数 9件
浦河町消費者被害防止ネットワーク

不安に思った場合やトラブルが生じた場合はすぐにご相談ください

 浦河町消費生活センター 22-6667 ・  消費者ホットライン 188 ・  警察相談電話 #9110